

**宮本淳弉水素研究奨励賞による授業料支援  
募集要項（令和3年度 秋学期入学）**

**1. 目的**

本奨学金は、故 宮本淳弉氏の遺志により、九州大学の水素研究の発展に寄与することを目的とし、水素研究に関する研究能力が特に優れ、本学の博士後期課程在学者で研究成果が期待できる者に対して授業料を支援し、学業及び研究に専念させることにより、本学大学院における研究活動の活性化を図るものである。

**2. 申請資格**

令和3年度秋学期に九州大学の博士後期課程、一貫制博士課程の3年次又は4年制博士課程（以下「博士後期課程等」という。）に進学を希望する者で、次に掲げる要件をすべて満たすもの

- ① 本学の修士課程、一貫制博士課程又は6年制学部在学する者  
※ただし、国費留学生や授業料支援を受ける政府派遣留学生は対象としない。
- ② 水素研究に関する研究業績を有する者又は研究業績をあげることが期待できる者  
※水素研究に関連するものであれば、特定の学府に限るものではない。

**3. 支援内容及び期間**

支援内容は、授業料の半額を免除するものとする。

支援期間は、博士後期課程等に在籍する期間とする。ただし、標準修業年限を超えることはできない。

**4. 授業料支援の採用人数**

令和3年度秋学期入学分は、2人程度とする。

**5. 申請手続き、選考等**

(1) 申請期限：

**令和3年6月25日（金）17時必着**

(2) 申請書類：所属部局事務部を通して以下の書類を電子データにて提出すること。

ただし、「② 指導教員推薦書」のみ、指導教員の自筆署名付きの推薦状を電子データ（PDF版）でI<sup>2</sup>CNER・Q-PIT 共通事務支援室 学術支援・渉外グループ宛に指導教員から直接送付すること。（送付e-mail：[iq-kenkyu@jimu.kyushu-u.ac.jp](mailto:iq-kenkyu@jimu.kyushu-u.ac.jp)）

- ① 申請書【Word ファイル】
- ② 指導教員推薦書【PDF ファイル】
- ③ 公表論文、修士論文等【PDF ファイル】

### (3) 選考方法

- ① 提出された書類について、「博士論文研究構想の革新性・独創性」、「博士研究計画の具体性・実現性」、「学術論文や国際・国内学会等での成果発表実績」などの観点に基づき審査する。
- ② 書類審査を通過した者に対して、これまでの研究成果と今後の研究計画をプレゼンさせ、口頭試問により、「関連分野の基礎学力の理解度」、「脱炭素社会実現に向けた社会的意義」、「他分野の研究者や実務担当者らにも理解できるプレゼン力」などを評価・選考する。

### (4) 選考スケジュール

- 6月25日 公募締切
- 7月中旬 書類審査・面接候補の選考（予定）
- 7月下旬 面接審査（予定）
- 8月中旬 採用者決定（予定）

※各日程については予定であり、変更になる可能性がある。

## 6. 支援の取消

次のいずれかの事実該当する場合は、支援を取り消すものとする。

- ① 退学又は除籍となった場合
- ② 死亡した場合
- ③ 懲戒処分を受けた場合
- ④ 九州大学における授業料免除を申請し、当該免除が許可された場合
- ⑤ 国費留学生及び授業料支援を行う政府派遣留学生に該当する場合
- ⑥ 学業成績又は性行が本授業料支援を受ける者として相応しくない状況になった場合

## 7. 授業料支援者の義務

### (1) 学業及び研究専念

授業料支援者は、本授業料支援によって経済的支援を受けているという自覚を常に持ち、学業及び研究に専念しなければならない。

### (2) 広報等

学内外において研究経過及び研究成果を発表する場合は、本授業料支援を受けている旨を明記するなどして積極的に広報活動を行うこと。その際の謝辞の記載例は次のとおりとする。

記載例：【和文】本研究は宮本淳弍水素研究奨励賞の支援を受けたものです。

【英文】This work is supported by the Junichi Miyamoto Hydrogen Research Award.

また、エネルギー研究教育機構が主催する各種イベント（九州大学エネルギーウィーク等）において、ポスター発表等を行うこと。

(3) 適正な研究活動

本学が定める適正な研究活動を推進するための規定等を遵守しなければならない。

**8. 連絡先**

I<sup>2</sup>CNER・Q-PIT 共通事務支援室 学術支援・渉外グループ

E-Mail : iq-kenkyu@jimu.kyushu-u.ac.jp

TEL : 90-6644、7196